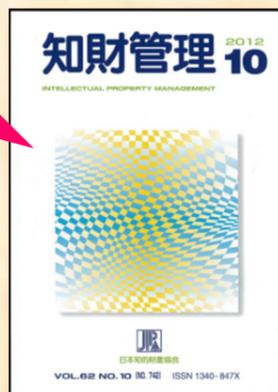


会誌広報委員会

創刊
1951年



私達は会員企業から期待され、価値が実感できる「知財管理」誌を目指して活動しています。

活動内容 「知財管理」誌の企画・編集に携われます！



ダウンロードランキング 総合順位:2012.9月号～2013.8月号 HP掲載後3ヶ月間のダウンロード件数

1位	Apple社の知財戦略について	国際第1委員会 (2013.5月号)
2位	進歩性判断における主引用発明の選定に関する考察 -引用発明の組合せ手法が論理づけに与える影響-	特許第2委員会 第3小委員会 (2012.9月号)
3位	知財経営の要諦	玉井 誠一郎 (2013.4月号)
4位	ビジネスモデル構築に繋がる知財活動のために -知財部門の課題と戦略的役割-	知的財産マネジメント第2委員会 第2小委員会 (2013.6月号)
5位	知財人材の育成 -知財専門力+知財マネジメント力の育成-	知的財産マネジメント第1委員会 第1小委員会 (2013.8月号)

* 執筆者は敬称略

会誌広報委員会へ参画しませんか！

委員にも企業にも大きなメリットがあります

- ★ 様々な職種・業種の方との会話を通し、コミュニケーションの向上に繋がります。
- ★ 特許法のみならず、あらゆる知財法に触れ、多面的な知識を得られます。
- ★ 「編集」という業務を通じて、文章力などがスキルアップします。



企業訪問も楽しいですよ～！

会誌広報委員の メインジョブは “原稿の企画” です!!

企 画 原 稿 が で き る ま で

① 企画の立案

こんなきっかけで、企画案が生まれます

どうしよう～

教えて～

セミナーで

もっと

知りたい!

ひらめいた!



社内で
困る事が



思いつき

むむっ?!

雑誌や新聞を
読んで



あの人に
会ってみたーい♪

② 企画会議

企画の充実
執筆者の決定



執筆者は..

例えば提案時に執筆者候補が浮かばずとも、皆で情報提供します

③ 執筆者との面談



その話も..

載せたい!けど企画外等で載せられない貴重なお話も伺えます

面談でお会いした方とテーマ

* 執筆者は敬称略
* 掲載号順

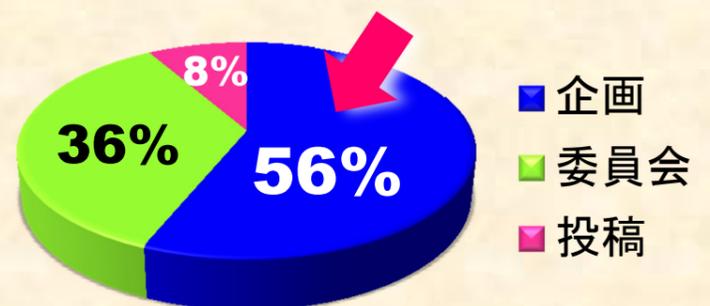
執筆者: **ヘンリー 幸田** (4月号)
進化する米国知財ビジネスの実態と将来、そして日本の対応

執筆者: **川瀬 幹夫** (5月号)
商標法3条1項の本来的識別性と使用による顕著性

執筆者: **土生 哲也** (7月号)
知的財産の力で中小企業を活性化
— 中小企業のための知的財産戦略 —

執筆者: **加藤 幸江** (8月号)
商標権者等の商標不正使用による商標権登録
取消要件についての考察 — 立証の観点から —

2013年1月号～12月号まで
企画原稿が半数以上!



予告

2014年4月号: 特集号テーマ

知財パラダイムシフト